

**製品名: Gα t2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11867**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GNAT2
別名	GNAT2; GNATC; Guanine nucleotide-binding protein G(t) subunit alpha-2; Transducin alpha-2 chain
遺伝子 ID	2780.0
SwissProt ID	P19087
免疫原	抗血清はヒト GNAT2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

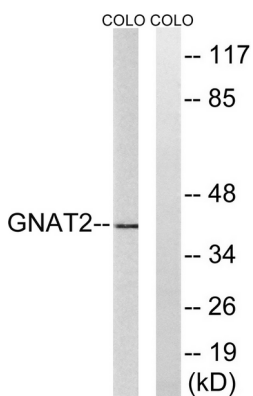
トランスデューシンは、3つのサブユニットからなるグアニンヌクレオチド結合タンパク質（Gタンパク質）であり、視覚刺激時に口

ドプシンと cGMP ホスホジエステラーゼの共役を刺激します。桿体と錐体のトランスデュースン  $\alpha$  サブユニットは、それぞれ別の遺伝子によってコードされています。この遺伝子は、錐体の  $\alpha$  サブユニットをコードしています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患：GNAT2 の欠陥は、色覚異常 4 型 (ACHM4) [MIM:139340] の原因です。色覚異常は、常染色体劣性遺伝性の視覚障害で、出生時から存在し、色覚の識別能力の欠如を特徴とします。機能：グアニンヌクレオチド結合タンパク質 (G タンパク質) は、様々な膜貫通シグナル伝達系において、調節因子またはトランスデュースンとして関与しています。トランスデュースンは、視覚インパルスの増幅器であり、ロドプシンと cGMP ホスホジエステラーゼとの結合を担う変換器の一つである。類似性：G- $\alpha$  ファミリーに属する。G(i/o/t/z) サブファミリー。サブユニット：G タンパク質は、 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$  の 3 つのユニットから構成される。 $\alpha$  鎖にはグアニンヌクレオチド結合部位が含まれる。組織特異性：網膜桿体外節。

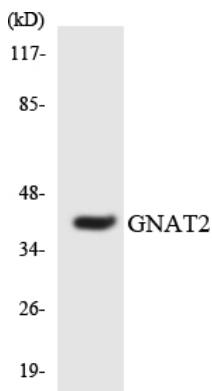
## 研究分野

-

## 画像データ



GNAT2 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GNAT2 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。